

校長室だより

No. 5

平成 29 年 5 月 10 日(水)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

本年度の体育祭に向けて ー石川先生と共にー

ゴールデンウィークも明け、いよいよ今月 27 日（土）に行われる体育祭の練習が始まります。連休最後の 7 日（日）には、学区の体育委員さんが体育祭で使う道具の点検に来ておられました。地域のために働かれる姿に頭が下がります。さて、学校で体育祭を支える中心となるのが、体育主任の石川駿先生です。

石川先生は、昨年初任者として赴任したばかりです。若い 2 年目の先生でありながらも、本年度体育主任を任せましたので、学校の体育的行事の中心となって企画・運営に携わってもらっています。石川先生は、すでに 4 月 22 日（土）に、体育祭種目の再検討と各競技担当者の配置、競技ごとの全職員の配置など、A 4 用紙 30 ページの資料提案をしてくれました。そして、それだけでなく、この日までに児童会の体育委員会で、本年度のスローガンを子供たちが考える機会をもってくれていました。4 月の学年・学級開きの仕事の多い時期に、しかもまだ慣れないことが多いなかで、よくがんばってくれたと思います。



【昨年度体育祭より】

その石川先生には、わたしの方から年度はじめの頃に「今年のテーマはどうするかね。」と、話しかけていました。石川先生は、これを受け、子供たちと一緒にスローガンを考えてくれたようでした。はじめにわたしのところへ持ってきてくれたのは、次の 3 つでした。

【体育委員会が考えてくれたスローガン】

- 踏み出そう 勝利への一歩 仲間と共に
- 咲きほこれ六中小の花 笑顔満開体育祭
- 輝く星 壁を破って 勝利をつかめ！！

子供たちが一生懸命考えたスローガンを、そのまま使うこともよいのですが、ここでわたしは石川先生に「体育

主任として、この体育祭で何を大切にしたいですか」と問いかけ、「子供と石川先生の願いを合わせたスローガンにしてください。」とお願いしました。

この体育祭で育てられることはたくさんあります。また、これほど学校の職員みんなで力を合わせて子供を鍛えられるよい機会はありません。そして、個人の

体育的技能のみでなく、集団で取り組む競技・演技があるからこそできる学びがあります。保護者や地域の方の前で競技・演技することも意欲や緊張につながります。学校体育全体を視野に入れる立場の体育主任として、ぜひとも「この体育祭でこの視点に集中し、子供を鍛えたい」という思いを持ってほしいと、わたしは毎年思っています。なんととっても、石川先生は、今年初めて体育主任を担当し、全校を動かすことができるのですから、その責任とやりがいを感じてほしいと思いました。

石川先生は、しばらく学習指導要領を読み直したり、今までの資料などを見たりして、伸ばしたい子供の力をわたしのところへ伝えにきてくれました。しかし、その時点では、研究物に載っているような抽象的な言葉でしたので、本校の子供の姿を思い浮かべ、子供にも先生にも伝わりやすい具体的で短い言葉で表わしてほしいと伝え、もう一度考えてもらうことにしました。



【本年度の練習開始】

そして、数日後に考えてきてくれたことが、「集団でそろえる力」「見ている人に感動を与える技磨き」の2つをテーマにしたいということでした。石川先生にとっても、六ツ美中部小学校の子供や先生に示す本年度の宣言になりますから、納得した言葉にしてもらいたいと思いました。そこで、「その方向でよいから、一晚言葉をねかせて見直し、納得でき言葉ができればそれでいこう。」と伝えました。できあがったスローガンが以下のものです。

【本年度の体育祭スローガン】

そろう美

魅せる技

笑顔満開体育祭

わたしの体育祭で大切にしたいことは、2年前から変わりません。「静と動の動きをしっかりと作る」ことです。体育祭で鍛えたいポイントだと思っています。(これは石川先生にも伝えてあります) 体育祭の練習で「静と動」を鍛えておくことが、すべての体育的活動に生きるだけでなく、卒業式を

はじめ様々な場面で子供の姿勢や動きの指導の基になると考えています。わたしの考える「静と動」と、石川先生のテーマは一見少し違うように見えるかもしれませんが、「そろえる美」も「魅せる技」も、「静と動」のしっかりした動きなくしては達成できません。子供も先生も「そろえる」「魅せる」を大いに意識することで、「静と動」の力は育っていくだろうと考えています。

当日どれだけできるようになっているかは分かりません。子供一人一人のもつ個性もそれぞれです。しかし、わたしたちは今年このスローガンをもとに子供を鍛えていきたいと思います。